平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場会社名 株式会社 毎日コムネット　　上場取引所　東
コード番号 8908　URL http://www.maicom.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 伊藤 守
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 小野田 博幸　TEL 03-5218-8908

四半期報告書提出予定日　平成26年1月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	5,108	9.3	438	43.4	395	92.4	230	121.9
25年5月期第2四半期	4,673	△5.9	306	66.1	205	120.7	103	158.6

(注)包括利益　26年5月期第2四半期　228百万円　(116.0%)　25年5月期第2四半期　105百万円　(165.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	25.57	―
25年5月期第2四半期	11.53	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第2四半期	11,312	4,852	42.9
25年5月期	11,056	4,758	43.0

(参考)自己資本　26年5月期第2四半期　4,852百万円　25年5月期　4,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	―	0.00	―	15.00	15.00
26年5月期	―	0.00			
26年5月期(予想)			―	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 5月期の連結業績予想(平成25年 6月 1日～平成26年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,950	6.1	940	12.4	910	18.8	535	22.7	59.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期2Q	9,000,000 株	25年5月期	9,000,000 株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	42 株	25年5月期	42 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期2Q	8,999,958 株	25年5月期2Q	8,999,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
・当社は、平成26年1月22日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（４）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、東日本大震災の復興需要を背景とした穏やかな内需の回復が見られたものの、欧州における金融不安の長期化や中国及び新興国の経済成長の鈍化等により、依然として先行き不透明な状況となっております。一方で、新政権による経済政策による金融緩和・景気対策への期待感により円安傾向及び株価の持ち直しが進み、景気回復への期待は高まっております。

その状況の中、当社グループの主要顧客層である大学生マーケットにおきましては、平成25年春の大学入学者数は61.4万人、大学生総数は286.9万人（文部科学省「学校基本調査」による）といずれも過去最高水準を維持しております。引き続き、少子化時代にあっても安定的に推移する大学生市場においては、さまざまなサービス分野において学生の多様化するライフスタイルとニーズに応える低廉で高品質なサービスが求められていると言えます。

このような市場環境の中で当社グループは、事業の方向性を明確にし、戦略的投資を促進するため、不動産デベロップメント部門と不動産マネジメント部門の２部門からなる「不動産ソリューション事業」と課外活動ソリューション部門と人材ソリューション部門の２部門からなる「学生生活ソリューション事業」の２事業(セグメント)計４部門で事業展開を図っております。

なお、平成25年11月１日付で、報告セグメントのうち「学生生活支援事業」 を「学生生活ソリューション事業」に名称変更しており、部門のうち「課外活動支援部門」を「課外活動ソリューション部門」、「開発部門」を「不動産デベロップメント部門」、「学生マンション部門」を「不動産マネジメント部門」に名称変更しております。当該変更は、セグメントの名称変更のみであり、セグメント区分に変更はありません。

特に、景気動向の影響を比較的受けにくい不動産ソリューション事業における不動産マネジメント部門は、ますます高まる学生の安心・快適な住居ニーズに支えられ順調に推移いたしました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は5,108,286千円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は438,945千円（同43.4%増）、経常利益は395,365千円（同92.4%増）、四半期純利益は230,130千円（同121.9%増）となりました。

① 売上高

当第２四半期連結累計期間の売上高は5,108,286千円（前年同四半期比9.3%増）となりました。セグメント別には不動産ソリューション事業の売上高は4,024,800千円（同9.9%増）、学生生活ソリューション事業の売上高は1,083,486千円（同7.1%増）となりました。また、部門別では、不動産デベロップメント部門は579,016千円（同47.2%増）、不動産マネジメント部門は3,445,783千円（同5.5%増）、課外活動ソリューション部門は1,073,177千円（同6.3%増）、人材ソリューション部門は10,308千円（同336.7%増）となりました。

② 営業利益

当第２四半期連結累計期間の不動産ソリューション事業の売上総利益は828,785千円（前年同四半期比17.6%増）、セグメント利益は469,560千円（同35.1%増）となりました。また学生生活ソリューション事業の売上総利益は549,246千円（同7.1%増）、セグメント利益は261,957千円（同6.0%増）となりました。

その結果、各セグメントに配分していない全社費用292,572千円（同1.4%増）を調整し、全社の当第２四半期連結累計期間の営業利益は438,945千円（同43.4%増）となりました。

③ 経常利益

当第２四半期連結累計期間の営業外損益はマイナス43,579千円となり、その結果、当第２四半期連結累計期間の経常利益は395,365千円（前年同四半期比92.4%増）となりました。

④ 四半期純利益

当第２四半期連結累計期間の特別利益に投資有価証券売却益268千円を計上いたしました。

その結果、四半期純利益は230,130千円（前年同四半期比121.9%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は11,312,269千円となり前連結会計年度末に比べ256,204千円増加いたしました。この増加の主な要因は、販売用不動産が302,947千円の増加、流動資産のその他が61,887千円の増加、現金及び預金が25,881千円の減少、有形固定資産のその他が17,319千円の減少及び投資その他の資産のその他が70,291千円減少したことによるものであります。

負債合計は6,460,122千円となり前連結会計年度末に比べ162,304千円増加いたしました。この増加の主な要因は、長期借入金（１年内返済予定分を含む）が545,000千円の増加、社債（１年内償還予定分を含む）が226,800千円の減少、未払法人税等が103,090千円の減少及び賞与引当金が50,120千円減少したことによるものであります。

また、純資産合計は4,852,147千円となり前連結会計年度末に比べ93,899千円増加いたしました。この増加の主な要因は、前期の剰余金の処分による配当金の支払134,999千円及び四半期純利益230,130千円を計上したことによるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度の43.0%から42.9%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月21日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年６月１日　至　平成25年11月30日）

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,316,966	4,291,084
受取手形及び売掛金	45,829	34,411
販売用不動産	1,767,867	2,070,841
貯蔵品	16,664	22,376
その他	596,833	658,720
貸倒引当金	△60	△802
流動資産合計	6,744,100	7,076,633
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,297,674	1,297,674
その他（純額）	1,136,322	1,119,003
有形固定資産合計	2,433,996	2,416,677
無形固定資産	148,483	166,035
投資その他の資産		
その他	1,683,891	1,613,599
貸倒引当金	△373	△372
投資その他の資産合計	1,683,517	1,613,226
固定資産合計	4,265,997	4,195,940
繰延資産	45,967	39,696
資産合計	11,056,065	11,312,269
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	149,618	101,351
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	86,500	214,000
1年内償還予定の社債	453,600	453,600
未払法人税等	298,055	194,964
賞与引当金	79,700	29,580
その他	650,127	681,090
流動負債合計	2,717,600	2,674,587
固定負債		
社債	1,613,500	1,386,700
長期借入金	719,910	1,137,410
役員退職慰労引当金	194,460	203,460
その他	1,052,347	1,057,965
固定負債合計	3,580,217	3,785,535
負債合計	6,297,817	6,460,122

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年11月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	775,066	775,066
資本剰余金	511,183	511,183
利益剰余金	3,469,655	3,564,786
自己株式	△17	△17
株主資本合計	4,755,888	4,851,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,358	1,127
その他の包括利益累計額合計	2,358	1,127
純資産合計	4,758,247	4,852,147
負債純資産合計	11,056,065	11,312,269

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年６月１日 至　平成25年11月30日）
売上高	4,673,142	5,108,286
売上原価	3,455,233	3,730,254
売上総利益	1,217,908	1,378,032
販売費及び一般管理費	911,857	939,086
営業利益	306,051	438,945
営業外収益		
受取利息	3,091	3,202
受取配当金	139	139
経営指導料	8,567	7,339
その他	6,944	4,059
営業外収益合計	18,742	14,741
営業外費用		
支払利息	22,893	23,390
持分法による投資損失	78,906	17,668
社債発行費等	16,202	16,239
その他	1,294	1,021
営業外費用合計	119,295	58,320
経常利益	205,497	395,365
特別利益		
投資有価証券売却益	－	268
特別利益合計	－	268
特別損失		
固定資産除却損	583	－
特別損失合計	583	－
税金等調整前四半期純利益	204,914	395,634
法人税、住民税及び事業税	154,125	190,424
法人税等調整額	△52,936	△24,920
法人税等合計	101,189	165,504
少数株主損益調整前四半期純利益	103,724	230,130
四半期純利益	103,724	230,130

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年６月１日 至　平成25年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	103,724	230,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,241	△1,231
その他の包括利益合計	2,241	△1,231
四半期包括利益	105,966	228,899
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,966	228,899
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年６月１日　至　平成25年８月31日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年６月１日　至　平成24年11月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,661,156	1,011,986	4,673,142	－	4,673,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,661,156	1,011,986	4,673,142	－	4,673,142
セグメント利益	347,603	247,121	594,724	△288,673	306,051

（注）１　セグメント利益の調整額△288,673千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年６月１日　至　平成25年11月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産ソリューション事業	学生生活ソリューション事業（注）３	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,024,800	1,083,486	5,108,286	－	5,108,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	4,024,800	1,083,486	5,108,286	－	5,108,286
セグメント利益	469,560	261,957	731,517	△292,572	438,945

（注）１　セグメント利益の調整額△292,572千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３　平成25年11月１日付で、報告セグメントのうち「学生生活支援事業」を「学生生活ソリューション事業」に名称変更しております。当該変更は、セグメントの名称変更のみであり、セグメント区分に変更はありません。なお、前第２四半期連結累計期間についても変更後の名称で記載しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（４）重要な後発事象

該当事項はありません。